

ネイティブ **E. coli** 無機ピロリン酸加水分解酵素

Cat. No. NATE-1272

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ピロリン酸加水分解酵素（または無機ピロリン酸加水分解酵素）は、1つのピロリン酸分子を2つのリン酸イオンに交換する反応を触媒する酵素（EC 3.6.1.1）です。これは非常にエネルギー放出反応であり、したがって、これらの交換を完了させるために好ましくない生化学的交換に結びつけることができます。この酵素の機能は、脂質代謝（脂質の合成と分解を含む）、カルシウム吸収と骨形成、DNA合成、さらには他の生化学的交換において重要な役割を果たします。

用途 転写反応におけるRNA収量の増加；DNA複製の強化。

別名 ピロリン酸ホスホヒドrolラーゼ；無機ピロリン酸加水分解酵素；EC 3.6.1.1；9024-82-2；iphosphateホスホヒドrolラーゼ

製品情報

由来 大腸菌

形態 20 mM トリス-HCl、100 mM NaCl、1 mM ジチオスレイトール、0.1 mM EDTA、50% グリセロール、pH 8.0 25°C。 -20°Cで保存してください。

CAS登録番号 9024-82-2

濃度 100 単位/ ml

単位定義 1単位は、標準反応条件下で無機ピロリン酸から1μmolのリン酸を1分間に生成する酵素の量です（25°Cで20 mM Tris-HCl、pH 8.0、2 mM MgCl₂および2 mM PPiの条件で10分間反応）。